



# 学級通信



大田区立御園中学校

難聴学級

第1号

令和8年4月13日

## 今年度もよろしくお祈いします



難聴学級の通級生および保護者の皆さま、ご進級おめでとございます。



今年度の学級は、2年生2名、3年生3名でのスタートです。今年、難聴学級は新1年生がいない形でのスタートとなりました。しかし、昨年も年度途中から校内1年生2名の入級が決まったように、今後新たな出会いがあるかもしれません。1年、2年先を行く先輩として様々なことを伝えられるように、日々を大切に過ごしてほしいと思います。この1年間、難聴学級通級生の仲をさらに深め、温かくて、心から安心できる難聴学級をみんなでつくり上げていきましょう。

さて、昨年度まで難聴学級で4年間勤務された青野茂生先生は、足立区立扇中学校の特別支援学級（情緒）へ転任されました。青野先生とのお別れの会を、5月1日（金）に難聴学級で設けます。今までの感謝の気持ちをゆっくり伝えられると良いですね。

そして、新しく田村喜恵先生を迎えました。今年度は教員2名で難聴生の教育にあたっていきます。どうぞよろしくお祈いします。

## 2026年度 教職員の紹介

はが あすか  
**芳我 明日香**

今まで難聴生を温かく・笑いで包んでくれた青野先生が異動された心細さもありますが、新しく着任された田村先生と共に、御園中難聴学級を、生徒が安心して成長できる場にしていきたいと思ひます。

昨年は、主に学級行事で、難聴生たちの磨き上げられた話術や表現力に驚き、沢山笑わせてもらいました。今年度も、生徒達のがのびと、そして持っている力を存分に発揮できるように、環境を整えていきたいと思ひます。

たむら きえ  
**田村 喜恵**

今年度から育休明けで、難聴学級を担当することになった田村喜恵です。

育休前はサポートルームを担当して、初めての難聴学級ということで気持ちはドキドキですが、難聴生たちとの新たな出会いを大切に、私自身学びながら生徒と共に成長していきたいと思ひます。専門は国語なので、言葉で伝えあう楽しさや国語の魅力を生徒たちにたくさん伝えていこうと思ひます。

1年間よろしくお祈いします。

## 今後の予定

【4月】 校外生通級日：16日（木）、17日（金）、23日（木）、24日（金）

【5月】 1日（金）グループ学習①「難聴学級歓送迎会」 集合16:00 開会16:30～

## 生徒たちの成長・・・

3月に、「学校生活支援シート」や「個別指導計画」の評価を青野先生と芳我で記載しました。そこで通級生の1年間の様子や成長について、じっくり語り合う時間をもつことができました。

校内通級生の2人は、学習に前向きに取り組む姿が印象的でした。「間違えても大丈夫」という安心感の中で、授業中の教師の問いかけに対し、ものすごいスピードで教科書の文字を追い、声を張り上げて答える、そんな活気溢れる授業の様子が思い出されます。通常学級で授業を担当していた講師の先生が、卒業を祝う会で司会を務めた2人を見て、「とても立派だった！祝う会を心から楽しんでいる笑顔が良かったね。」と声をかけてくださいました。



校外通級生の3人は、いよいよ最上級生になります。昨年度は、それぞれが行事や委員会、部活動において役割や責任を果たそうと、一生懸命に、そして楽しみながら取り組んでいる様子が、通級の時間を通して伝わってきました。「1年生の時は心配なことも沢山あったけれど、あんなに頼もしくなるなんて」と青野先生も感慨ひとしお。

そんな彼らの姿から、中学校時代における子どもの成長のスピードを感じます。体が一段とたくましくなるばかりでなく、心の面でも様々に揺れ動きながら、しなやかに強くなっていくのだと感じました。特に中学3年生の1年間の精神的な成長は、1・2年生の時の1年間と比べると格段の差があるのではないかと思います。

3年生となった彼らには、いよいよ本格的な進路選択が迫ってきます。通級生たちは、自分の聞こえ方をよく理解し、本来もつ力を十分に発揮するための合理的配慮を申請することが求められます。保護者の皆様にとっても初めて経験することが多いかと思いますが、お子様が安心して学習に専念できるよう、余裕をもって準備を進めていただきたいと思います。

困ったことや不安なことがありましたら、遠慮なく難聴学級にご連絡ください。家庭と学校で連絡を取り合い、相談を重ねながら、子どもたちの成長に寄り添っていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。



## 入学式の情報保障

難聴学級では、入学式などの式典において情報保障を行っています。情報保障は、聞こえにくい人たちにとって大切な支援のひとつ。今年度の入学式でも、体育館前方にスクリーンを設置し文字情報を投影しました。新しく御園中に赴任された先生の中には、初めて目にする情報保障に驚かれる方もいます。しかし、御園中生にとってはすでに見慣れた光景となっています。



昨年度、1年を対象に難聴理解授業を行った際、「聞こえにくい人のための支援に、情報保障があります。」と説明すると「入学式の時にあった！」と声が上がりました。

今年度の入学式も、通常学級の3年生が重いスクリーンを運び、プロジェクターの位置を調整するなど、進んで準備を手伝ってくれました。こちらが準備の手順を伝えずとも、てきばきと動き、あっという間に設営が完成。情報保障という支援の必要性を理解し、快く準備に力を貸してくれる御園の生徒たち。ありがとうございました。